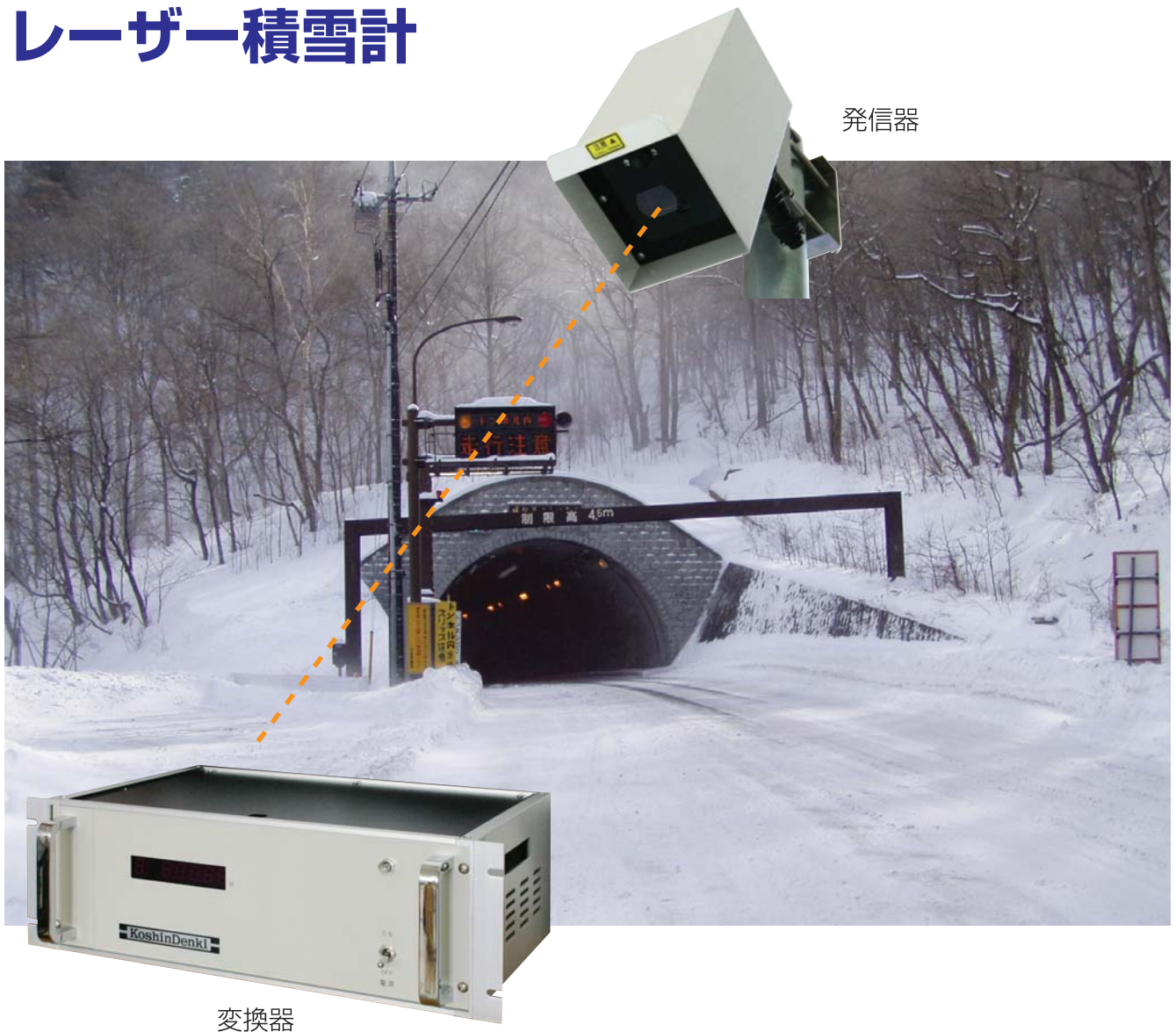


SU-201 レーザー積雪計



発信器

変換器

特 長

- 雪面に非接触で積雪深を自動測定
- 人感センサ付でレーザー光に対する安全対策処理
体温のある動物類も対象
人感センサで検知されるとレーザー光の照射をストップ、その結果省エネ効果(特許第3584399号)
- 温度による補正は不要
- 風や降雪などの影響を受けにくい
- 斜め方向からの照射が可能のため設置が容易
- 雪質を選ばず正確に測定
- 気象庁検定取得が可能

標 準 構 成

SU-1201	発信器	1
SU-2201	変換器	1

アプリケーション例

- 道路気象に！
- 除雪対策に！
- 利雪監視に！
- スキー場の管理に！
- 鉄道の安全運行に！



レーザー光が積雪面に向けて照射され、積雪面から反射して戻ってくるまでの位相差を計測し積雪深として測定します。
 発信されるレーザー光はクラス2で直接見つめなければ安全ですが、安全対策として人感センサによって人体を検出した場合は、レーザー光の出力を停止します。人体が離れば自動的に測定を再開します。

■標準仕様

発信器	
検出方式	可視光レーザー反射式
光源	レーザーダイオード クラス2
波長	620~670nm
測定範囲	0~5m
測定精度	±1cm以内
応答時間	0.5sec
隔測距離	最大1km(6芯ケーブル)
質量	約3kg

変換器	
入力信号	シリアルカレントループ信号
測定範囲	0~5m
測定精度	±1cm以内
表示	LEDセグメント -5.00~+5.00m (文字高さ12.7mm)
外部出力	0~5m/0~1V
データ更新	10秒毎
電源	AC100V±10% 30VA

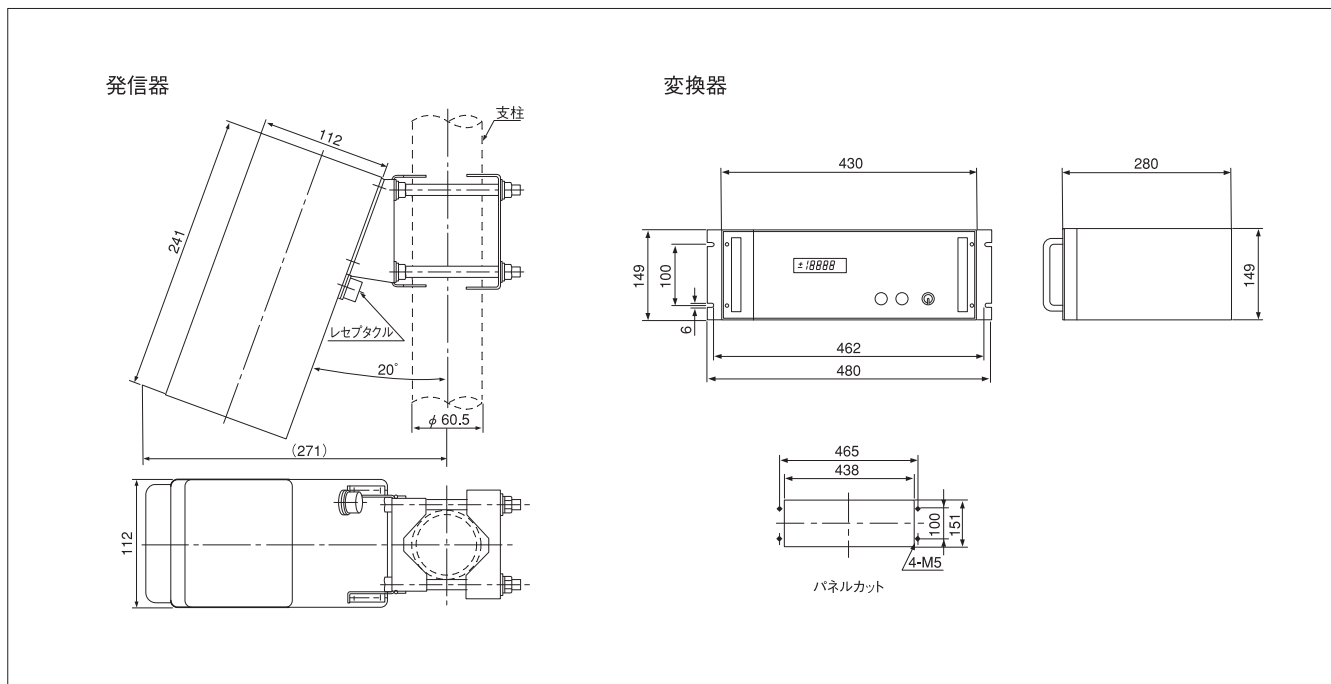
■設置例



■測定原理

発信器からレーザー光を発射し、雪面で反射したレーザー光を受けてその伝播時間を計測すれば距離を求めることが出来ます。しかし光の速度は非常に速いため単純に時間を計測することは出来ません。そこで本器では、位相差方式といって発射したレーザー光をプリズムで分岐し一方は雪面へ、もう一方は直接受光器に送ります。直接受けたレーザー光と雪面に反射して戻ってきたレーザー光を受光するまでの時間を計測し、周波数変換して一波の時間を計測可能な波長まで伸張して計測しています。

■外形寸法図



このカタログはお断りなく仕様変更することがあります。



光進電気工業株式会社

本社・自然計測ディビジョン

URL : <http://www.koshindenki.com>

東京都目黒区自由が丘1丁目20番19号 〒152-0035

TEL.(03)3717-0101(代) FAX.(03)3718-0101 e-mail : koshin@koshindenki.com

福岡支店 TEL.(092)483-8808 FAX.(092)483-8809

関西営業所 TEL.(078)230-0201 FAX.(078)230-0211

仙台営業所 TEL.(022)397-2121 FAX.(022)397-2323

仙台工場 TEL.(022)397-2121 FAX.(022)397-2323



このカタログは再生紙を使用しています

July.07-SC0027-1-K-08